
WIFI ユーザーマニュアル

2026 年 06 月 22 日

目次

1 システム設定	4
1.1 ファームウェアバージョンの読み取り	4
1.2 工場出荷時設定にリセット	4
1.3 作業モード	4
2 電源管理	6
2.1 睡眠時間を読む	6
2.2 睡眠時間を設定する	6
2.3 コード読み取りデバイスのバッテリー残量を取得する	8
3 情報プロンプト	8
3.1 ブザー制御	8
3.2 振動モーター制御	9
3.3 ブザー音の定義	10
3.4 インジケータライトの定義	10
4 有線モード	10
4.1 USB 送信方法	11
4.2 USB キーボードの送信速度	11
4.3 USB HID マルチキー送信設定	12
5 Wi-Fi 送信モード	13
5.1 デバイス ID の変更	13
5.2 データアップロード形式	13
5.3 データ受信フォーマット	14
5.4 データ転送プロトコル	14
5.5 ネットワーク構成	31
6 藍牙モード	33
6.1 藍牙 HID	33
6.2 藍牙 SPP	34
6.3 藍牙 BLE	34
6.4 ペ어링情報をクリアする	34
6.5 iOS キーボードのポップアップ/非表示	34
6.6 藍牙キーボードの送信速度	35
6.7 藍牙名の変更	36
7 キーボード設定	36
7.1 HID Keyboard General Setting	36
7.2 キーボードの言語設定	43
8 キーボード言語	43
8.1 現在のキーボードレイアウトを読み取る	43
9 データ編集	49
9.1 標準データ編集設定	49
9.2 拡張データ編集設定	56
9.3 端末文字設定	58
9.4 GS1 AI フィールドブラケット設定	59

10 読書モード	60
10.1 バーコードデコード読み取りモード	60
11 付録	63
11.1 文字検索テーブル	63

1 システム設定

1.1 ファームウェアバージョンの読み取り



ファームウェアバージョンの読み取り

1.2 工場出荷時設定にリセット

注釈

「カスタムデフォルトの書き込み」が実行されている場合、「デフォルトの復元」はそれらのカスタムデフォルトを復元します。それ以外の場合は、工場出荷時のデフォルト値が復元されます。

重要

「工場出荷時のデフォルトに設定」は、すべてのカスタムデフォルトをクリアし、工場出荷時のデフォルトに戻します。



カスタムデフォルトを復元する



カスタムのデフォルト値を書き込む



工場出荷時のデフォルトを設定する

1.3 作業モード

i 注釈

データのアップロードプロセス中に、「データアップロード」コマンドを再度スキャンすると、現在のアップロードはキャンセルまたは停止されます。

i 注釈

無線送信モードで自動保存を有効にすると、送信に失敗したバーコードが自動的に保存され、保存されたデータは「データアップロード」で読み込むことができます。



* 通常モード



ストレージモード



ストレージデータのアップロード



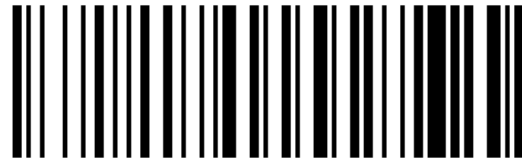
保存されているバーコードの総数を読み取ります



アップロード後にストレージデータをクリアする



ストレージスペースの使用状況を読み取る



保存されたバーコードをクリアする



* 自動ストレージモードが無効になっています



自動ストレージモードが有効になっています

2 電源管理

2.1 睡眠時間を読む



睡眠時間を読む

2.2 睡眠時間を設定する



今すぐ冬眠します



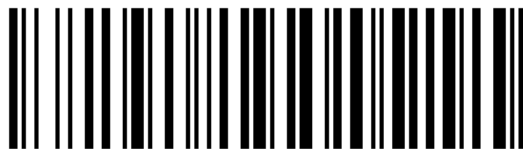
1 分後に寝る



3 分後にスリープ (デフォルト)



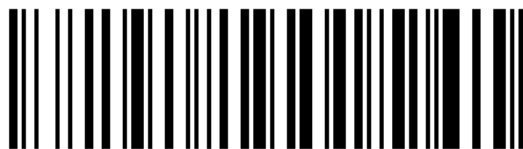
5 分後に寝る



10 分後に寝る



30 分後に寝る



1 時間後に寝る

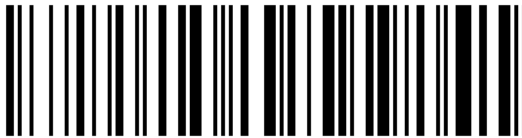


2 時間後に寝る



決して眠らないでください

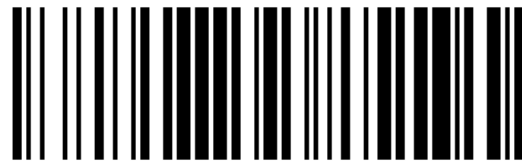
2.3 コード読み取りデバイスのバッテリー残量を取得する



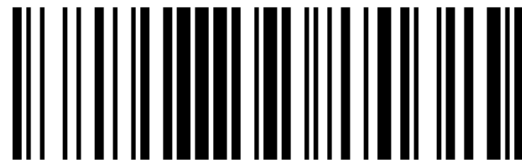
バッテリー残量を取得する

3 情報プロンプト

3.1 ブザー制御



ミュート



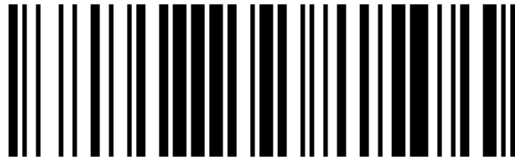
*大音量



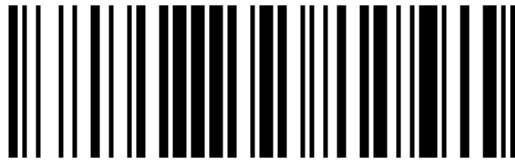
中程度の音量



小さい音量



* 高音



低音



* SDK 音声応答が無効になっています



SDK 音声応答の有効化



ベース接続ブザープロンプトスイッチ

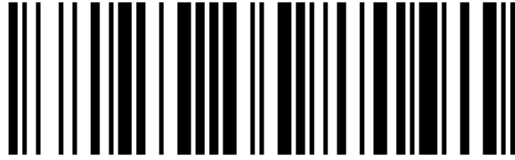
3.2 振動モーター制御

注釈

振動モーターはビープ音とともに動作しますが、すべてのモデルがこの機能をサポートしているわけではありません。



無効にする



有効にする

3.3 ブザー音の定義

タイプ	音	意味	音声ファイル
ビープ	ワントーン（ツートーン）	ストレージモードの読み取り。シャットダウンプロンプト。	storage-mode.m4a、shutdown.m4a
ビープ	1 音（3 音）	電源投入時のプロンプト。設定は成功しました。アップロードモード転送完了プロンプト。	startup.m4a、wireless-setting.m4a
ビープ	短い音（同じ音）	バーコード読み取り成功プロンプト。	one-beeps.m4a
ビープ	30 秒間の連続した短いトーン	2.4G ペアリングモードは、レシーバーが挿入されるのを待ちます。ペアリングが成功すると停止します。	pair2.4G.m4a
アラーム音	2 トーン（同トーン）	読み取り中の電力不足アラーム。	two-beeps.m4a
アラーム音	3 音（同音）	インベントリモードストレージエラーまたはストレージ容量超過アラーム。	three-beeps.m4a
アラーム音	送信失敗音	バーコードの送信が失敗した場合にアラームを鳴らします。	まだ音声がありません
アラーム音	5 音（同音）	バッテリー残量が少ないと起動障害が発生します。	five-beeps.m4a

3.4 インジケータライトの定義

インジケータライト	州
赤信号/緑信号	充電中は赤色のライトが点灯し、緑色のライトが消灯します。完全に充電されると、赤色のライトが消え、緑色のライトが点灯します。
ブルーライト	ブザー動作に続き、ブザーが鳴ると点灯、鳴らないと消灯します。藍牙モードをサポートするモデルは、藍牙接続ステータスを示すためにも使用されます。

4 有線モード

i 注釈

有線伝送をサポートするコード読み取りデバイスにのみ適用されます。

4.1 USB 送信方法



* USB キーボードモード



USB 仮想串口モード

i 注釈

自動インターフェイス選択を有効にすると、デバイスは有線と無線の間で自動的に切り替わります。USB ケーブルが接続されている場合、有線モードが最初に使用されます。USB ケーブルが接続されていない場合、または USB が利用できない場合、コード読み取りデバイスは 2.4G モードで動作します。一部のモデルではこの機能をサポートしていない場合があります。



* 有線/無線自動選択が有効です



有線/無線自動選択無効

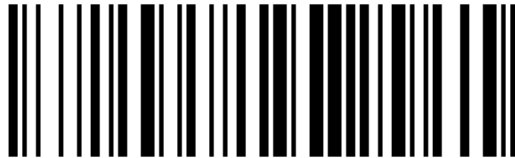
4.2 USB キーボードの送信速度

i 注釈

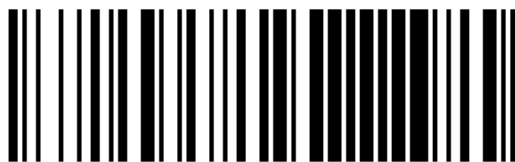
この設定は、RF、超長いバーコードの藍牙送信、およびストレージデータのアップロードの速度にも影響します。



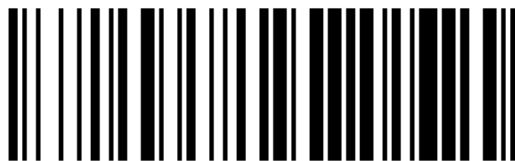
* 最高速度



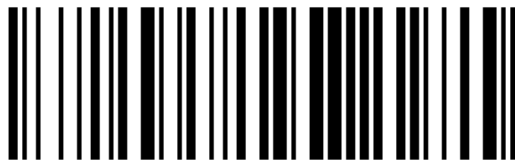
トップスピード



中速



中速



キーボードの読み取り速度

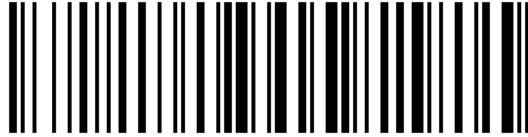


キーボードの読み取り速度

4.3 USB HID マルチキー送信設定

注釈

このセクションの設定は、Windows システムにのみ適用されます。



USB HID マルチキー送信有効



* USB HID マルチキー送信は無効です

5 Wi-Fi 送信モード

注釈

DS2800 など、Wi-Fi 送信をサポートするコード読み取りデバイスにのみ適用されます。

5.1 デバイス ID の変更

5.2 データアップロード形式

オリジナルのバーコードコンテンツ

例

```
{"ID":"680870"}
```

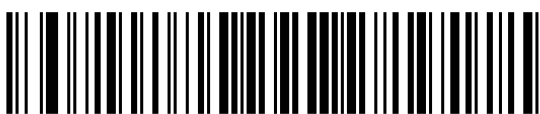


オリジナルのバーコードコンテンツ

Json 形式のコンテンツ

例

```
{"id":"C143F123","msg":{"ID":"680870"}}
```



Json 形式のコンテンツ

Json 形式 + コンテンツのエスケープ

i 例

```
{"id":"C143F123","msg":{"\\\\"ID\\\\"":"\\\\"680870\\\\""}"}
```



Json 形式 + コンテンツのエスケープ

5.3 データ受信フォーマット

パラメータ名	タイプ	説明する
ply	Int	発音記号
msg	String	メッセージ内容

リスト 1: 戻り例

```
1 {"ply":2,"msg":"ABEF"}
```

発音記号

発音記号	音声コンテンツ
1	ブザーが鳴る
2	ブザーが 2 回鳴る
3	ブザーが 3 回鳴ります

5.4 データ転送プロトコル

TCP クライアントを使用したデータ転送

i 注釈

DS2800 など、Wi-Fi 送信をサポートするコード読み取りデバイスにのみ適用されます。

クイック設定

注釈

サードパーティソフトウェアを使用して TCP サーバーを構築する場合、このツールを使用して構成コードを生成できます。

プレゼンテーションソフト

- 以下のリンクをクリックしてデモソフトウェアをダウンロードしてください: [Netum Wi-Fi TCP サーバー](#)

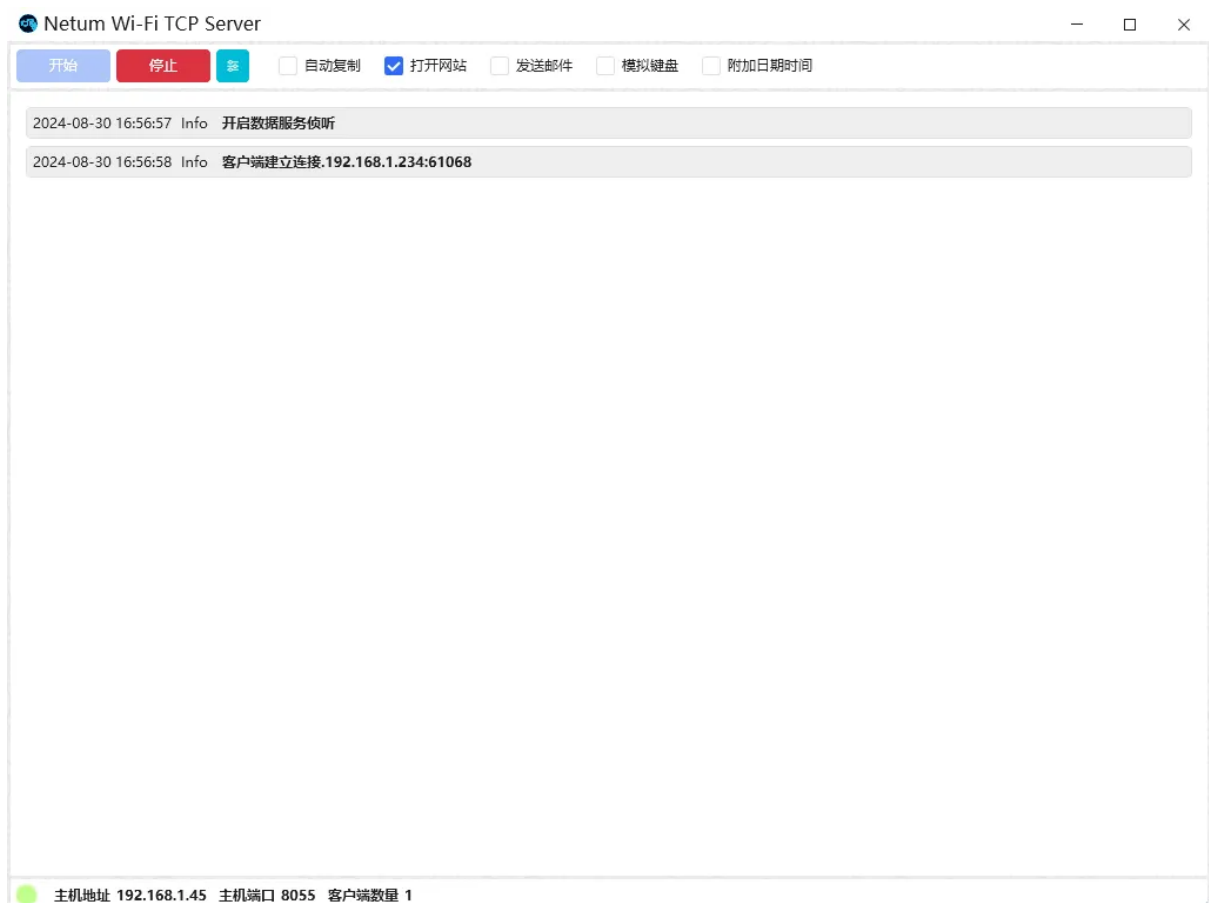
接続を確立する

1. デモソフトウェアをダウンロードし、ローカルディレクトリに解凍します。
2. デモソフトウェアを開き、コード読み取りデバイスが接続する必要がある Wi-Fi 情報と TCP サーバー情報を入力し、コード読み取りデバイスを使用して以下の QR コードをスキャンします。



TCP サーバー設定 QR コードの例

3. 「サービスの開始」をクリックするか、プログラムによって TCP サービスを開始します。
4. コード読み取りデバイスがソフトウェアによって提供される TCP サービスにアクティブに接続するまで待ちます。



TCP サーバーの実行例

注釈

- Host address: TCP サービスが存在するコンピューターの IP アドレス。
- Host port: TCP サービスによって監視されるポート番号。

TCP サーバーを使用してデータを送信します

注釈

DS2800 など、Wi-Fi 送信をサポートするコード読み取りデバイスにのみ適用されます。

クイック設定

注釈

サードパーティソフトウェアを使用して TCP クライアントを構築する場合、このツールを使用して構成コードを生成します。

プレゼンテーションソフト

- 以下のリンクをクリックしてデモソフトウェアをダウンロードしてください: [Netum Wi-Fi TCP クライアント](#)

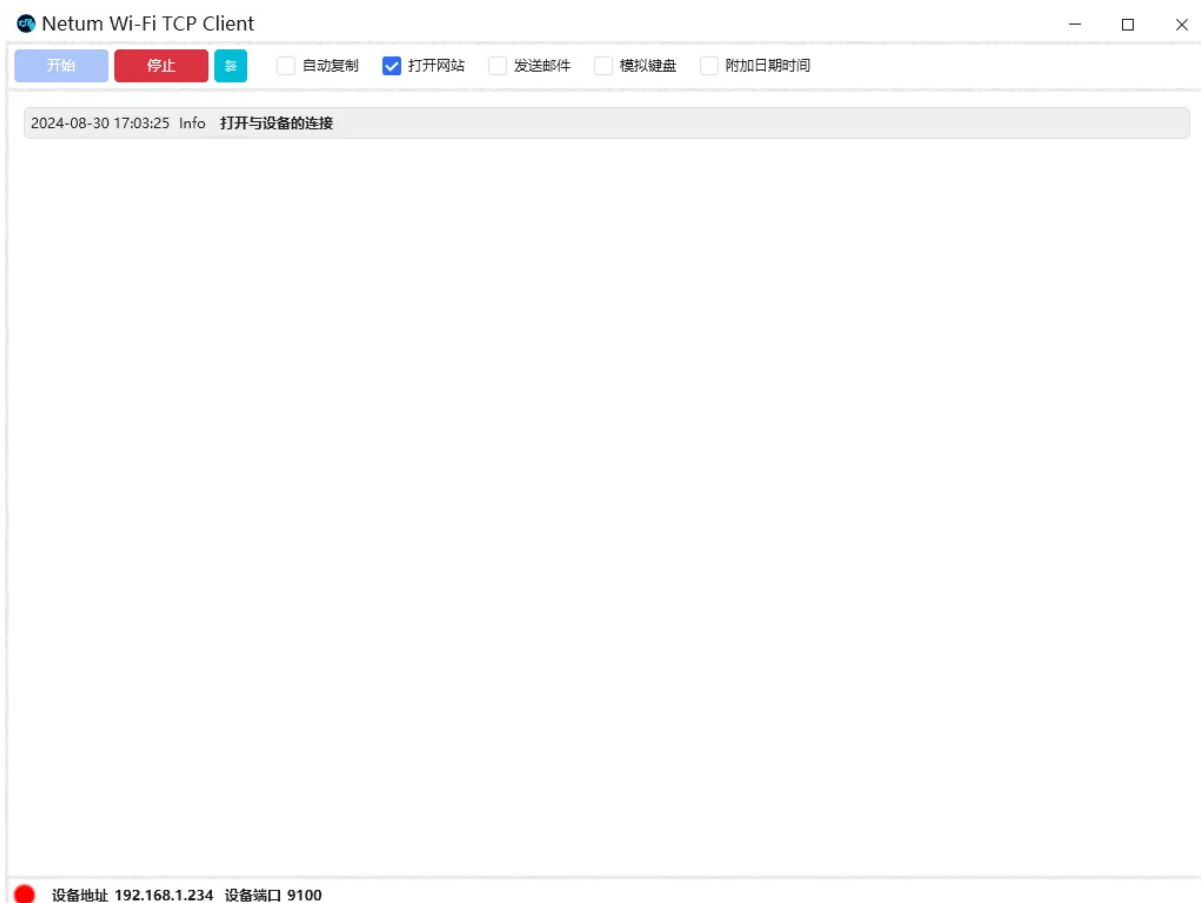
接続を確立する

1. デモソフトウェアをダウンロードし、ローカルディレクトリに解凍します。
2. デモソフトウェアを開き、コード読み取りデバイスが接続する必要がある Wi-Fi 情報、コード読み取りデバイスの IP アドレス、TCP サーバーポートを入力し、コード読み取りデバイスを使用して下の図の QR コードをスキャンします。



TCP クライアント構成の QR コードの例

3. スタートボタンをクリックするか、プログラムを通じて TCP クライアントを起動して、コード読み取りデバイスに接続します。
4. ソフトウェアがコード読み取りデバイスとの接続を確立した後、コード読み取りデバイスのプロンプトライトは点灯したままになります。



TCP クライアント接続例

注釈

- Device address: LAN 内のコード読み取りデバイスの IP アドレス。
- Device port: コード読み取りデバイスによって開かれた TCP サービスポート。

MQTT プロトコルを使用したデータ転送

注釈

DS2800 など、Wi-Fi 送信をサポートするコード読み取りデバイスにのみ適用されます。

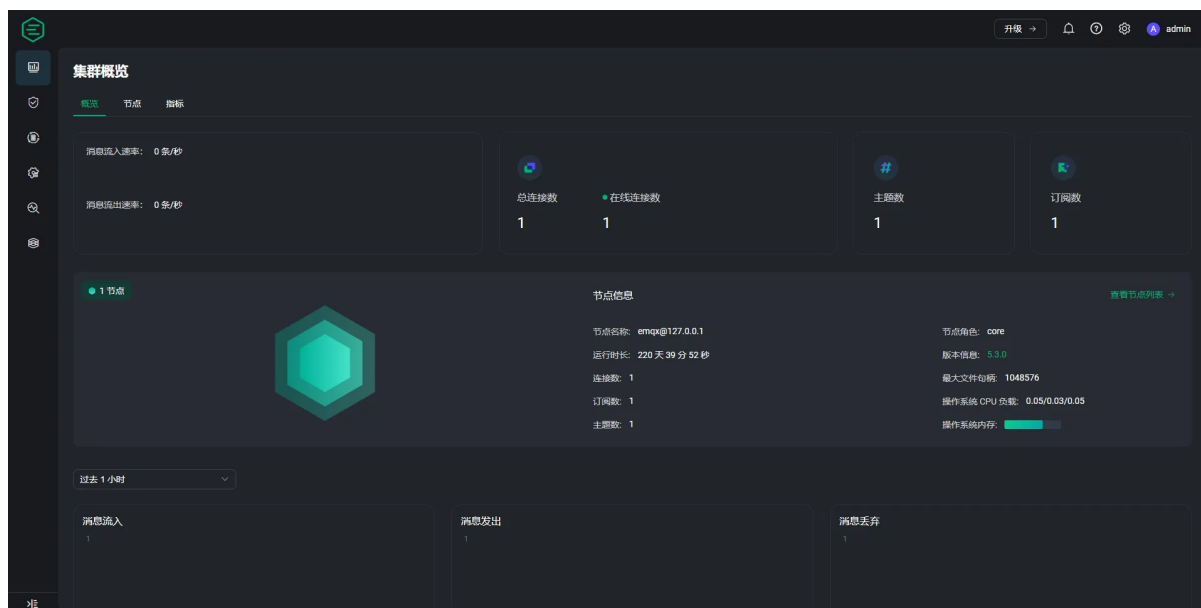
ブローカーサーバーを構築する

- サーバーを使用して MQTT ブローカーを構築すると、コード読み取りデバイスによってアップロードされたバーコードデータがサーバー経由で転送されます。

プレゼンテーションソフト

EMQX オープンソース版のダウンロードアドレス: [EMQX](#)

テストサービス



MQTT ブローカーテストサービス例

注釈

サーバー接続情報

- Host: mqtt.handy.pub
- Port: 1883
- Username: netum
- Password: netum@2022

テスト使用のみを目的としており、運用環境での使用は固く禁止されています。

コード読み取り装置の設定

Wi-Fi とブローカーを構成する

注釈

- コード読み取りデバイスは、デフォルトでポート 1883 を使用して MQTT ブローカーに接続します。
- コード読み取りデバイスによってサブスクライブされるデフォルトのトピックコンテンツは、device ID です。

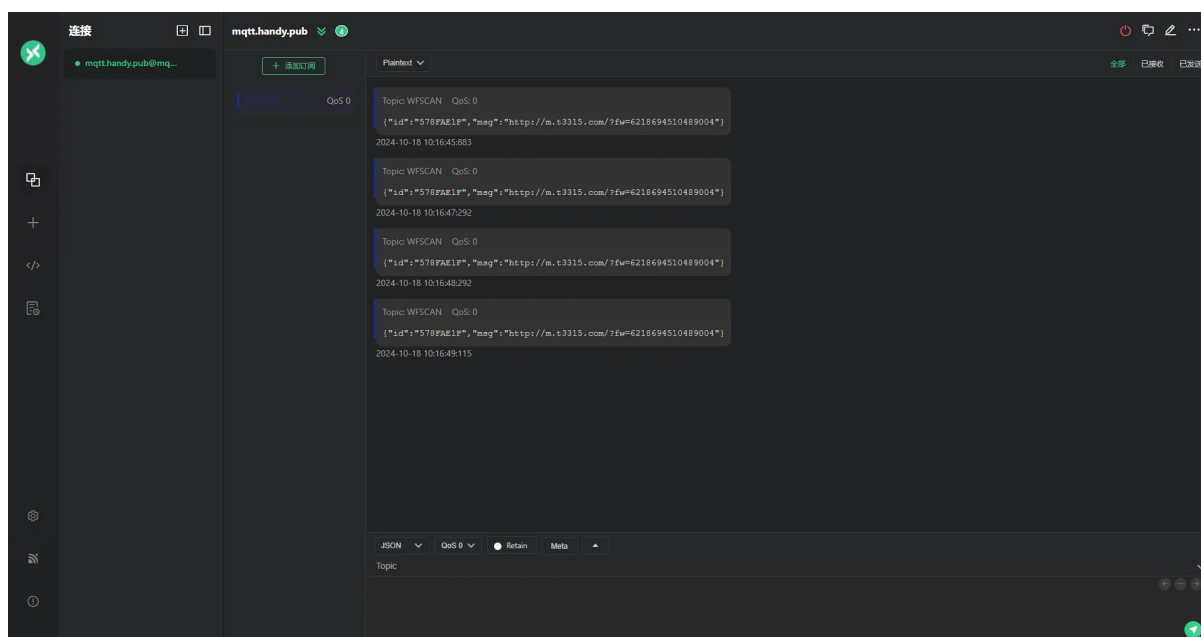
MQTT 接続ポートを変更する

コード読み取りデバイス公開テーマを変更する

コード読み取りデバイスのサブスクリプショントピックを変更する

データを受信する

- MQTT クライアントソフトウェア [MQTTX](#) を使用してブローカーサーバーに接続し、デコードデバイスがメッセージを公開するトピックにサブスクライブします。



MQTTX サブスクリプションの例

開発参考資料

- MQTT クライアントライブラリ
- MQTT チュートリアル

HTTP プロトコルを使用してデータを転送する

注釈

DS2800 など、Wi-Fi 送信をサポートするコード読み取りデバイスにのみ適用されます。

REST API を作成する

簡単な説明

- コード読み取りデバイスのデータアップロードインターフェイス。

リクエスト URL

- `https://httpbin.org/post`

リクエストモード

- POST

リクエストパラメータ

パラメータ名	必須	タイプ	説明する
id	はい	string	デバイス ID
msg	はい	string	スキャン内容

リスト 2: リクエスト例

1 `{"id": "04B9023A", "msg": "1234567890"}`

戻りパラメータ

詳細については、[データ受信フォーマット](#) を参照してください。

コード読み取り装置の設定

コード読み取りデバイスによって要求された **Content-Type** を設定します



Application/Json

コード読み取り装置が送信するデータ形式を設定します。



Json 形式のコンテンツ

Wi-Fi と API URL アドレスを構成する

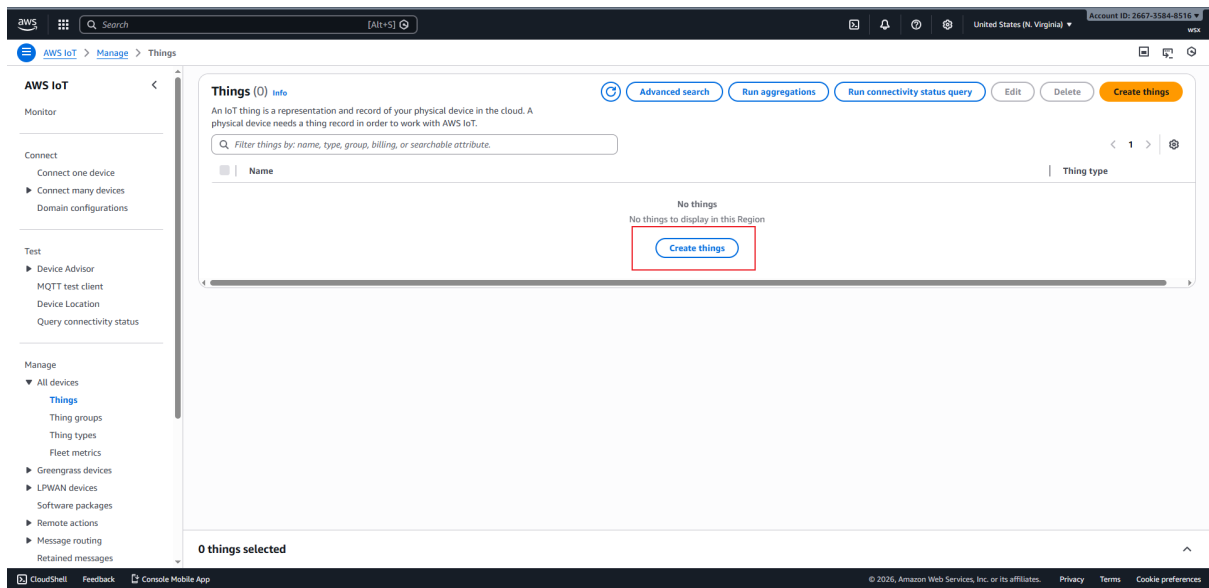
MQTTs プロトコルを使用して AWS IoT にデータを転送する

i 注釈

DS2800 など、Wi-Fi 送信をサポートするコード読み取りデバイスにのみ適用されます。

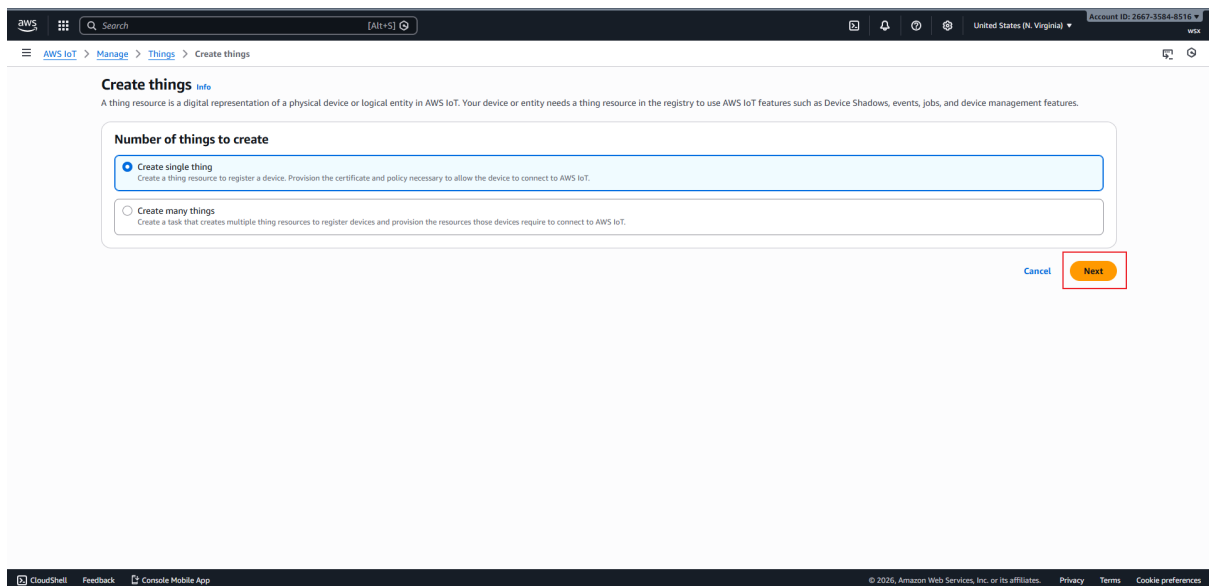
AWS IoT ページでデバイスを登録し、クライアント証明書と秘密キーを取得します。

- [Things](#) をクリックしてページに入ります。



モノのページ

- [Create Things] をクリックして、デバイス作成ページに入ります。



「モノの作成」ページ

- [Next] をクリックして、デバイスのプロパティ設定ページに入ります。

Step 1
 ● Specify thing properties
 ○ Step 2 - optional
 ○ Step 3 - optional
 ○ Attach policies to certificate

Specify thing properties [Info](#)

A thing resource is a digital representation of a physical device or logical entity in AWS IoT. Your device or entity needs a thing resource in the registry to use AWS IoT features such as Device Shadows, events, jobs, and device management features.

Thing properties [Info](#)

Thing name

Enter a unique name containing only: letters, numbers, hyphens, colons, or underscores. A thing name can't contain any spaces.

Additional configurations

You can use these configurations to add detail that can help you to organize, manage, and search your things.

- ▶ Thing type - optional
- ▶ Searchable thing attributes - optional
- ▶ Thing groups - optional
- ▶ Billing group - optional
- ▶ Packages and versions - optional

Device Shadow [Info](#)

Device Shadows allow connected devices to sync states with AWS. You can also get, update, or delete the state information of this thing's shadow using either HTTPs or MQTT topics.

☒ No shadow
☐ Named shadow
Create multiple shadows with different names to manage access to properties, and logically group your devices properties.
☐ Unnamed shadow (classic)
A thing can have only one unnamed shadow.

Specify things properties

- モノの名前を入力した後、Next をクリックしてデバイス証明書の構成ページに入ります。

Step 1
 ○ Specify thing properties
 ● Configure device certificate
 ○ Step 3 - optional
 ○ Attach policies to certificate

Configure device certificate - optional [Info](#)

A device requires a certificate to connect to AWS IoT. You can choose how to register a certificate for your device now, or you can create and register a certificate for your device later. Your device won't be able to connect to AWS IoT until it has an active certificate with an appropriate policy.

Device certificate

☒ Auto-generate a new certificate (recommended)
Generate a certificate, public key, and private key using AWS IoT's certificate authority.

☐ Use my certificate
Use a certificate signed by your own certificate authority.

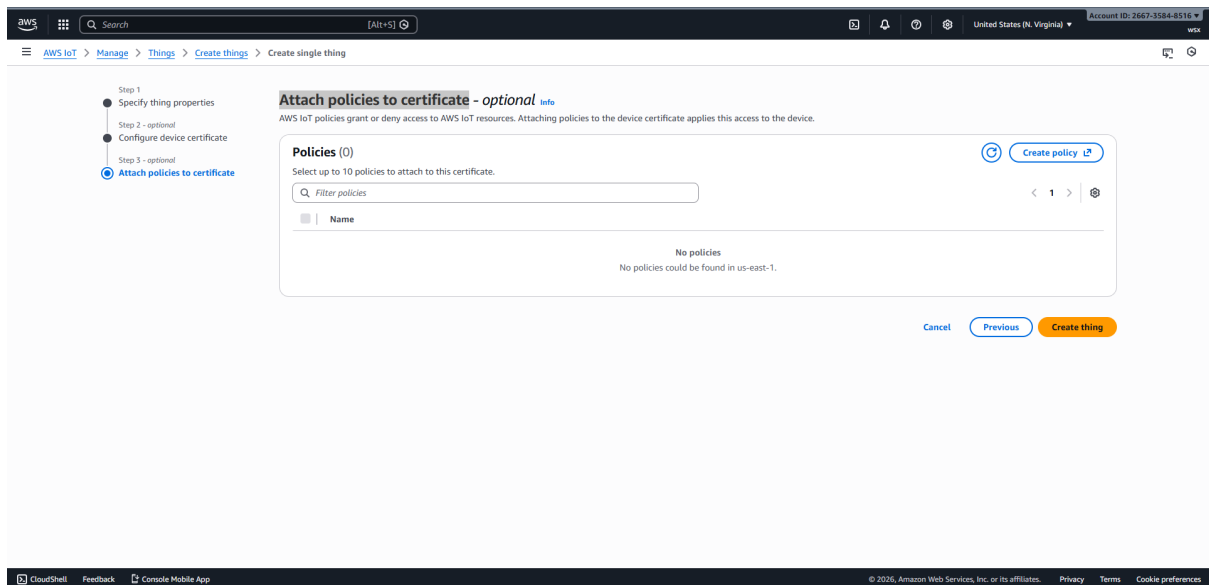
☐ Upload CSR
Register your CA and use your own certificates on one or many devices.

☐ Skip creating a certificate at this time
You can create a certificate for this thing and attach a policy to the certificate at a later time.

Cancel Previous **Next**

Configure device certificate

- [Next] をクリックして、証明書ポリシーバインディングページに入ります。

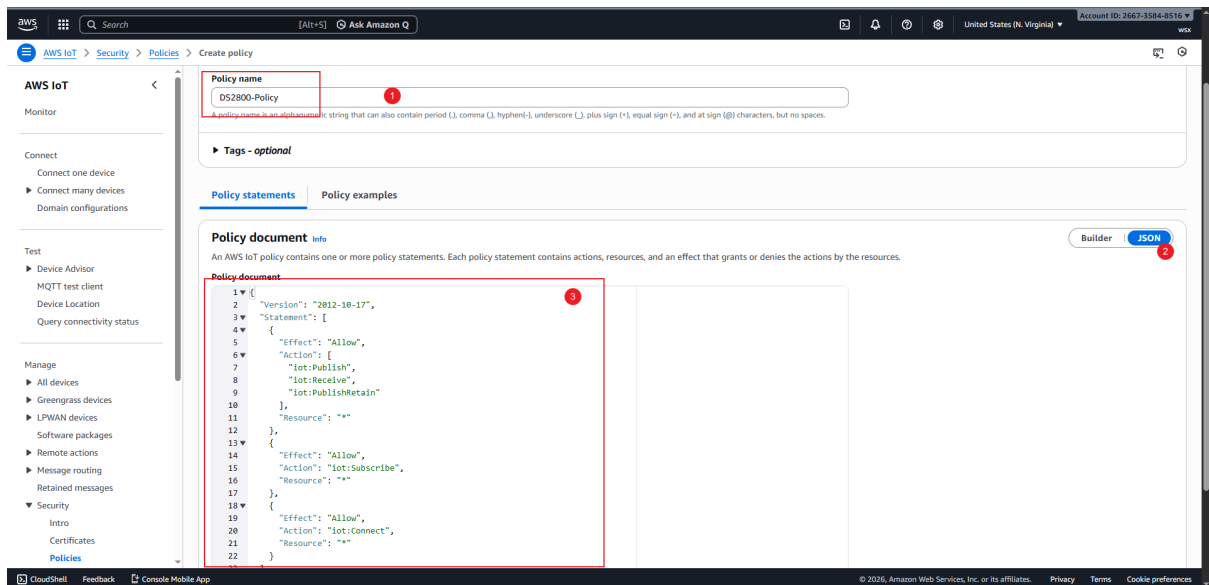


Attach policies to certificate

- [Create policy] をクリックしてポリシー作成ページに入り、ポリシー名を入力し、次の内容を JSON 入力ボックスにコピーして、[Create] をクリックして作成を完了します。

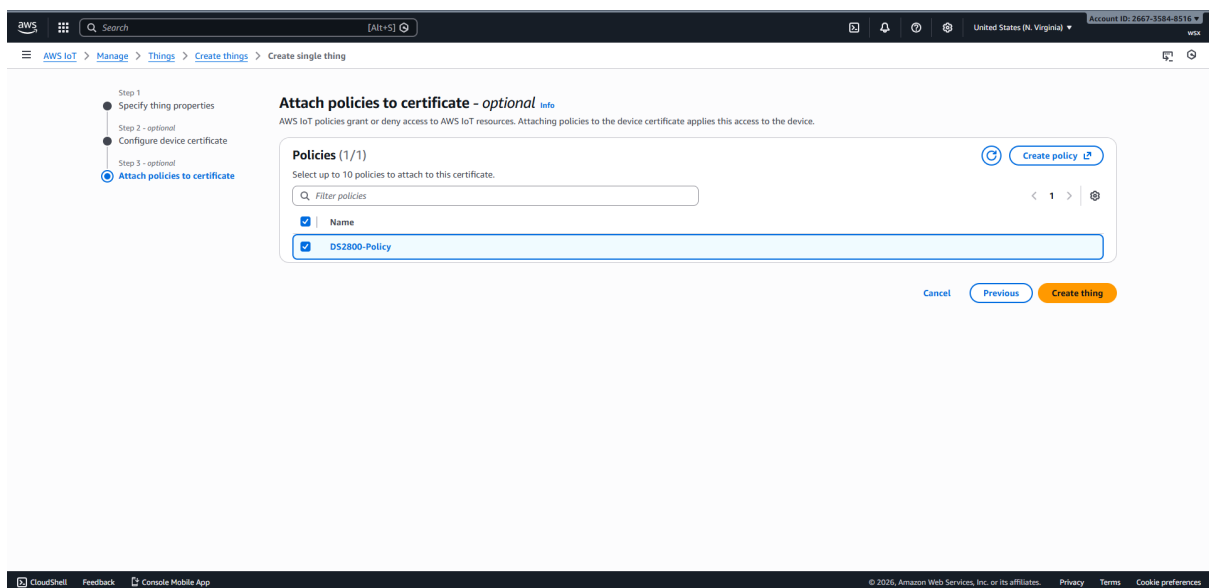
リスト 3: Policy document

```
1 {  
2   "Version": "2012-10-17",  
3   "Statement": [  
4     {  
5       "Effect": "Allow",  
6       "Action": [  
7         "iot:Publish",  
8         "iot:Receive",  
9         "iot:PublishRetain"  
10      ],  
11      "Resource": "*"   
12    },  
13    {  
14      "Effect": "Allow",  
15      "Action": "iot:Subscribe",  
16      "Resource": "*"   
17    },  
18    {  
19      "Effect": "Allow",  
20      "Action": "iot:Connect",  
21      "Resource": "*"   
22    }  
23  ]  
24 }
```



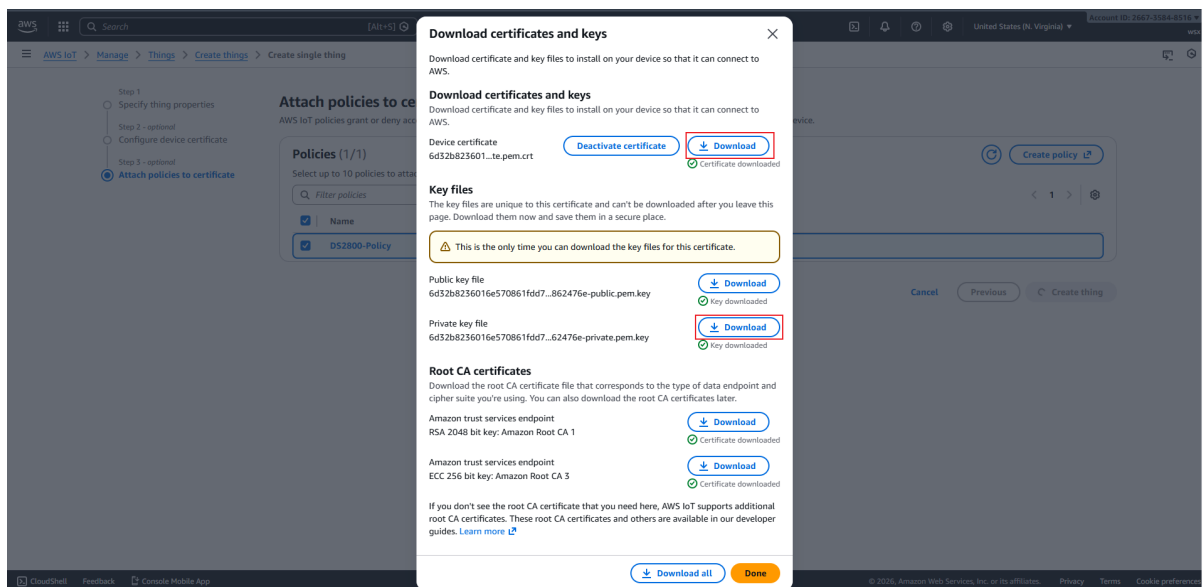
ポリシーの作成ページ

- Attach policies to certificate ページに戻り、新しく作成されたポリシーを確認し、Create Things をクリックしてデバイスの作成を完了します。



ポリシーをバインドしてモノを作成する

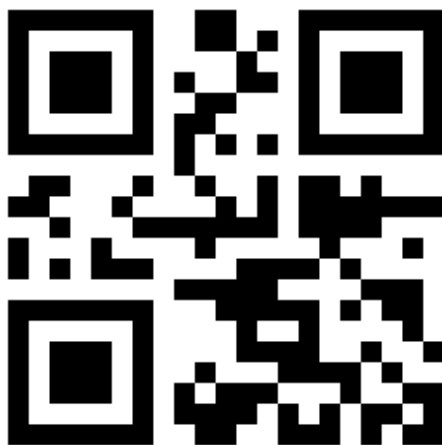
- まず証明書と秘密キーをダウンロードし、次に Done をクリックしてデバイスの作成プロセスを完了します。



証明書と秘密キーをダウンロードする

コード読み取り装置の設定

MQTT モードを設定する



MQTT モード

MQTT ポートを **8883** に設定します。



MQTT ポート 8883

クライアント証明書を設定する

💡 Tip

生成された QR コードが大きすぎる場合は、スクリーンショットを撮って携帯電話に送信し、携帯電話の画面の明るさを最高レベルに調整してから、コード読み取りデバイスを使用してスキャンすることをお勧めします。

秘密鍵を設定する

💡 Tip

生成された QR コードが大きすぎる場合は、スクリーンショットを撮って携帯電話に送信し、携帯電話の画面の明るさを最高レベルに調整してから、コード読み取りデバイスを使用してスキャンすることをお勧めします。

Wi-Fi とブローカーを構成する

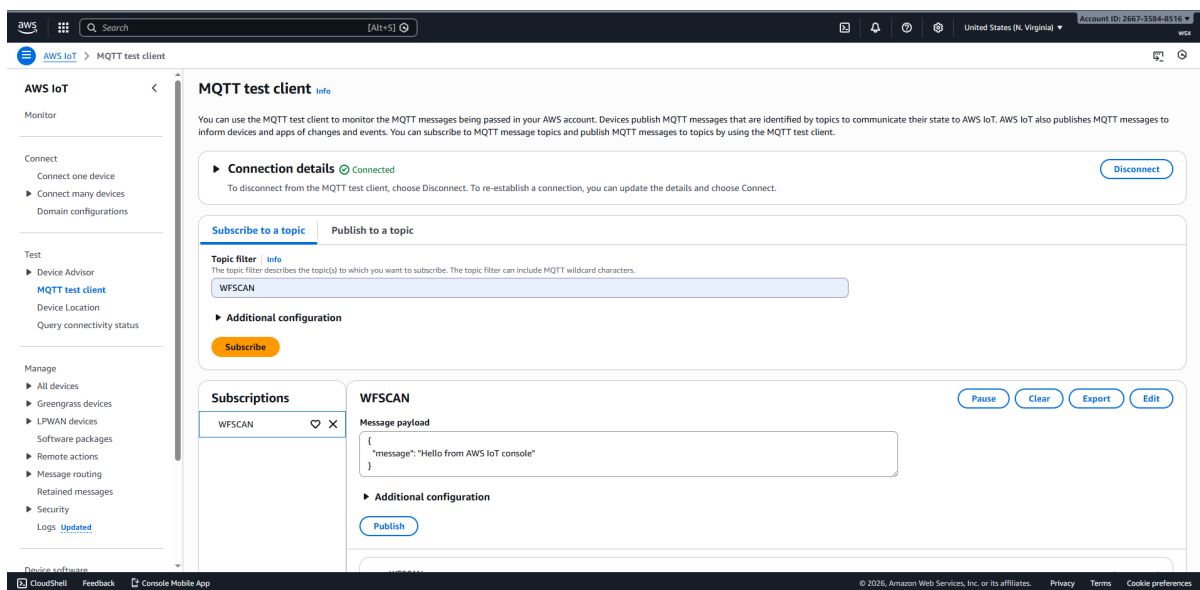
💡 Tip

対応する Wi-Fi 情報とサービスアドレスを入力すると、コード読み取りデバイスが AWS IoT にアクティブに接続します。接続が成功すると、コード読み取りデバイスの緑色のインジケータライトが点灯したままになります。

MQTT テストクライアント

- [MQTT テストクライアント](#) をクリックしてページに入ります。
- 購読するトピックを入力し、Subscribe をクリックした後、コード読み取りデバイス

使用してバーコードをスキャンし、コード読み取りデバイスによってアップロードされたデータを受信します。



MQTT テストクライアントページ

5.5 ネットワーク構成

ネットワーク構成

注釈

DS2800 など、Wi-Fi 送信をサポートするコード読み取りデバイスにのみ適用されます。

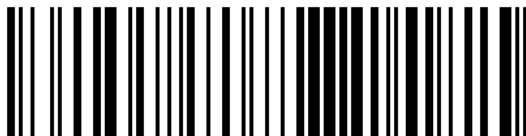
動的 IP アドレス構成

1. 恢复 Wi-Fi 模块默认设置



Wi-Fi モジュールのデフォルト設定を復元する

2. 设置动态 IP 模式



動的 IP モードを設定する

3. 重启读码设备



コード読み取り装置を再起動します

4. 配置传输方案

ネットワークパラメータを設定した後、必要に応じて引き続き次の送信方法を設定できます。

1. TCP クライアントを使用してデータを転送する
2. TCP サーバーを使用してデータを送信する
3. MQTT プロトコルを使用してデータを送信する
4. HTTP プロトコルを使用してデータを送信する

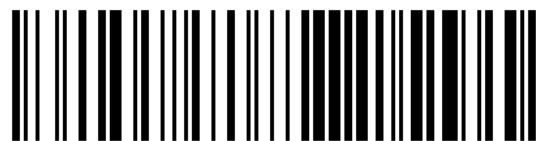
静的 IP アドレスの構成

1. 恢复 Wi-Fi 模块默认设置



Wi-Fi モジュールのデフォルト設定を復元する

2. 设置静态 IP 模式



静的 IP モードを設定する

3. 重启读码设备



コード読み取り装置を再起動します

4. 設置 IP 地址

5. 設置网关

6. 設置子网掩码

7. 配置传输方案

ネットワークパラメータを設定した後、必要に応じて引き続き次の送信方法を設定できます。

1. TCP クライアントを使用してデータを転送する
2. TCP サーバーを使用してデータを送信する
3. MQTT プロトコルを使用してデータを送信する
4. HTTP プロトコルを使用してデータを送信する

6 蓝牙モード

注釈

DS2800 など、Wi-Fi + 蓝牙送信をサポートするコード読み取りデバイスにのみ適用されます。

- 「蓝牙モード」設定コードをスキャンした後、ボタンを押してデバイスを起動すると、蓝牙送信に切り替えることができます。
- ホスト蓝牙を開いて検索し、ペアリングを完了すると、蓝牙を通じてデータを転送できるようになります。
- 一般的なデフォルトの蓝牙名は、barcode scanner または NETUM Bluetooth です。

注釈

青色のインジケータライトの意味は次のとおりです。

① 青いライトが点滅し、接続されていないことを示します。② 青いライトが常に点灯し、接続されていることを示します。

6.1 蓝牙 HID



* 蓝牙 HID

6.2 蓝牙 SPP



蓝牙 SPP

6.3 蓝牙 BLE



蓝牙 BLE

注釈

蓝牙 SPP および蓝牙 BLE は主にソフトウェアドッキングに使用されます。システム蓝牙で直接検索してペアリングする必要がある場合は、[蓝牙 HID](#) を使用してください。

6.4 ペアリング情報をクリアする

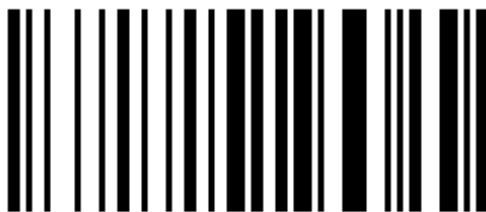


ペアリング情報をクリアする

注釈

新しいデバイスと再度ペアリングする場合、またはペアリングが失敗した場合は、セットアップコードをスキャンして再度ペアリングできます。

6.5 iOS キーボードのポップアップ/非表示

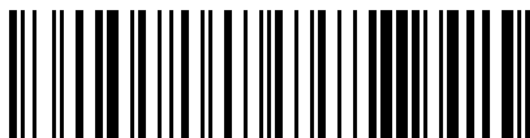


iOS キーボードのポップアップ/非表示

i 注釈

スキャンボタンを2回続けて押すと、設定コードをスキャンせずにキーボードをポップアップまたは非表示にすることもできます。この関数は、iOS システムでの藍牙ペアリングシナリオのみをサポートします。

6.6 藍牙キーボードの送信速度



藍牙キーボードの通信速度を読み取ります

高速



高速

中速



中速

低速



低速

6.7 藍牙名の変更

7 キーボード設定

7.1 HID Keyboard General Setting

HID 共通設定

注釈

このセクションの一般的な HID モード設定は、USB キーボード、RF2.4G キーボード、BT HID キーボードに適用されます。

Ctrl キーの組み合わせの設定



* 結合キーオフ



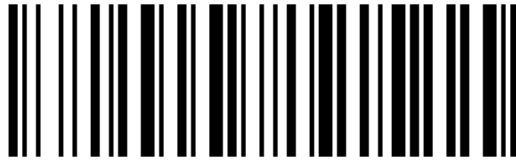
Ctrl+ Key Config1



Alt+ Key Config2



Normal-Key Config3



Ctrl+ Key Config4



Alt+ Key Config5

i 注釈

only for ASCII <0x20 chars, Alt+ key only for Windows system.

ケースの設定



普通



スワップケース



すべて大文字



すべて小文字

※ キーボード言語を ALT、TH に設定した場合、大文字と小文字の設定は適用されません。

Num Lock の設定



Num Lock が無効になりました



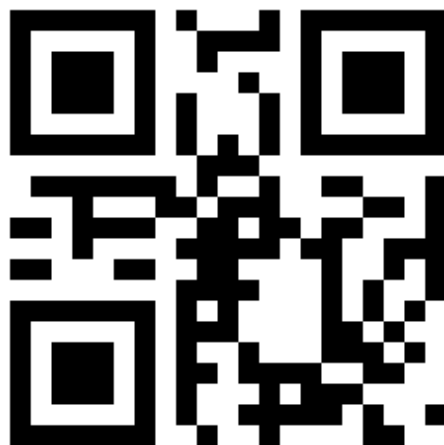
Num Lock が有効になりました

※ 受信端末が携帯電話の場合、Num Lock の設定をオフにしておかないと番号が表示されません。

文字セット設定を入力します

注釈

この設定は、特定のモジュールの 2D コード読み取りデバイスにのみ適用され、2D モジュールの出力文字セットと一致します。



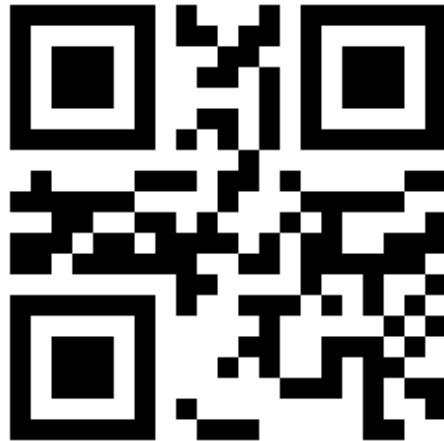
現在の文字セット設定を読み取る



自動



GBK / BIG5 / HANGUL / SJIS



ISO/IEC 8859



UTF8 (ワード)



UTF8 (送信)



ノーマルモード

例証します:

モデル	該当するシナリオ	コード読み取りモジュールの出力文字セット	限界
Auto	入力文字セットを UTF8 または ISO/IEC 8859 として自動的に選択します。Word または Txt 出力は、最後の UTF8 設定に基づいています。	プリミティブ型	なし
GBK	Windows のメモ帳、Excel の中国語入力。	GBK (GB2312) またはオリジナルのタイプ	Windows システムのみに適用されます。
UTF8 (Word)	Word、QQ 中国語入力。	UTF8 またはプリミティブ型	Windows システムのみに適用されます。
ISO/IEC 8859	ヨーロッパのシングルバイト特殊文字 (>= C0H)。FR、GE、TR、PT、ES、CS、IT、UK、HU、SK に適しています。	プリミティブ型	リストにない言語はカスタマイズで追加する必要があります。
UTF8 (Txt)	Windows のメモ帳で特殊文字を入力するには、Unicode プラグインをインストールする必要があります。	UTF8 またはプリミティブ型	Windows システムのみに適用されます。
Normal	FR、GE、TR、PT、ES、CS、IT、UK、HU、SK キーボードの文字に適した多言語特殊文字。	UTF8 またはプリミティブ型	リストにない言語はカスタマイズで追加する必要があります。

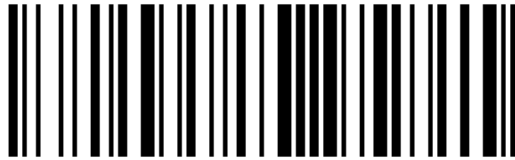
受信デバイスの選択

注釈

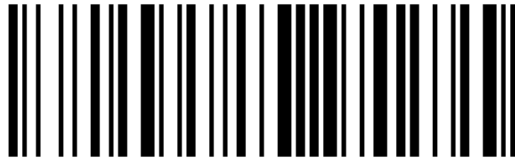
このセクションは、さまざまな受信デバイスが ASCII 文字 (0x20 から 0x7F) を入力する方法を設定するために使用され、[鍵盤言語設定](#) と組み合わせて使用 する必要があります。



現在の受信デバイス設定を読み取る



Windows デバイス



iPhone/iPad/Mac デバイス



Android デバイス

*IOS/MAC デバイスは現在有効です: FR、DE、TR、PT、ES、CS、IT、UK、HU、SK。ドキュメント「バーコードスキャナー用の MAC iPhone iPad キーボードレイアウト.docx」を参照してください。

※Android 端末には Google Gboard 入力方式を一律にインストールすることを推奨します。「バーコードスキャナー用 Android デバイスのキーボードレイアウト.docx」ドキュメントを参照してください。

7.2 キーボードの言語設定

➡ 参考

キーボード言語設定は別のページ (鍵盤语言设置) に分割されました。

8 キーボード言語

8.1 現在のキーボードレイアウトを読み取る



現在のキーボードレイアウトを読み取る

L1 *ENUSA アメリカ EN キー



* 米国英語キーボード

L2 FR フランスフランス語キー



フランス語フランス語キーボード

L3 DE ドイツドイツキー



ドイツ語ドイツ語キーボード

L4 ITItaly イタリアキー



イタリア語キーボード

L5 PT ポルトガルキー



ポルトガル語キーボード

L6 ES スペインスペインキー



スペイン語キーボード

L7 TR トウルキエトルコキー



トルコ語 Q キーボード



トルコ語 F キーボード

L8 ENUK 英国キー



イギリス英語キーボード

L9 CS チェコ語チェコ語キー



チェコ語キーボード



チェコ語の標準キーボード

L10 HU ハンガリーハンガリーキー



ハンガリー語キーボード

L11 FR ベルギー (フランス語) ベルギー FR キー



ベルギーフランス語キーボード

L12 PT ブラジル (ポルトガル語) ブラジル PT キー



ブラジル系ポルトガル語キーボード

L13 FR カナダ語フランス語 (繁体字) カナダ語 FR キー



カナダフランス語 (繁体字) キーボード

L14 HR クロアチアキー



クロアチア語キーボード

L15 SK スロバキアスロバキアキー



スロバキア語 QWERTY キーボード



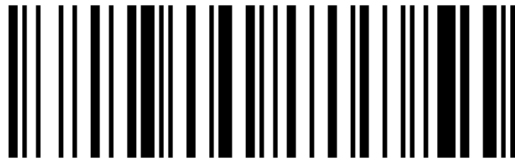
スロバキア語キーボード

L16 DA デンマークデンマークキー



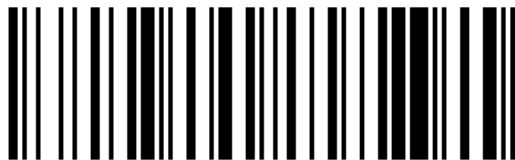
デンマーク語キーボード

L17 FIFINLAND キー



フィンランド語キーボード

L18 ES ラテンアメリカ (スペイン語) ラテンアメリカ ES キー



ラテンアメリカスペイン語キーボード

L19 NL オランダオランダキー



オランダ語キーボード

L20 ノルウェーノルウェーキー



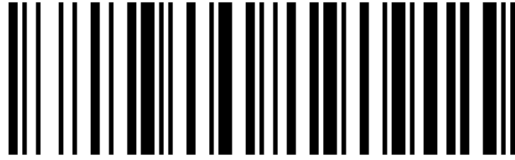
ノルウェー語キーボード

L21 PL ポーランドポーランドキー



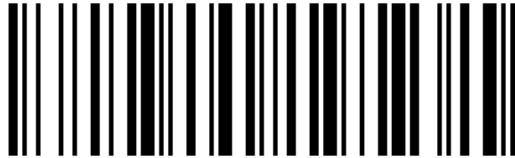
ポーランド語キーボード

L22 SR セルビア (ラテン) セルビアキー



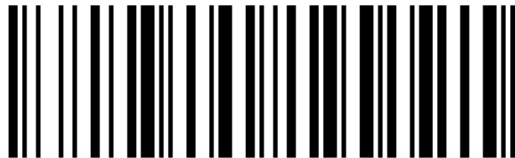
セルビア語ラテン語キーボード

L23 SL スロベニアキー



スロベニア語キーボード

L24 SVSweden スウェーデンキー



スウェーデン語キーボード

L25 DE スイス (ドイツ語) スイス DE キー



スイスドイツ語キーボード

L26 JP 日本語日本語キー



日本語キーボード

L27 TH タイタイキー

注釈

タイ語キーボードを使用する場合、コード読み取りモジュールも TH 出力に設定する必要があります。



タイ語キーボード

🔄 参考

参照ファイル: RF2.4G、藍牙設置 _ 中文、泰語、韓国.docx。

L28 ALT インターナショナルキーボード ALT グローバルキー

i 注釈

ALT インターナショナルキーボードは Windows システムにのみ適用され、ホストのキーボード設定の影響を受けませんが、転送速度が低下します。



ALT インターナショナルキーボード

L29 ALT シングルバイト特殊キーボード ALT シングルバイト特殊キー



ALT 半角特殊文字キーボード

i 注釈

このセクションに記載されていない言語をサポートするにはカスタマイズする必要があります。

9 データ編集

9.1 標準データ編集設定

このセクションでは、設定コードを使用して、プレフィックス、サフィックス、非表示文字などの一般的な出力ルールを設定する方法を説明します。

プレフィックス、サフィックス、隠し文字の設定

最大 10 個のプレフィックスまたは 10 個のサフィックスを出力データに追加できます。設定する場合は、ASCII 値に対応する 2 桁の 16 進数の設定コード (つまり 2 つのバーコード) をスキャンしてください。

➡ 参考

文字値については、[ASCII ファンクションキー文字比較表](#) および [ASCII 文字比較表](#) を参照してください。値の入力が必要なパラメータについては、[デジタル設定コード](#) をスキャンしてください。具体的な手順については、「[プレフィックスまたはサフィックスの追加ステップ](#)」を参照してください。

バーコードの最初、中間、または最後の文字を非表示にするように設定できます。対応する非表示設定コードをスキャンした後、非表示にする文字の長さに対応する 2 桁の 16 進数の設定コードをスキャンします (00 ~ FF、たとえば 4 文字を非表示にする場合は、0、4 を順にスキャンします)。

➡ 参考

文字を非表示にするプロセスについては、[バーコードの最初/中間/末尾の文字を非表示にする手順](#) を参照してください。

オペコード



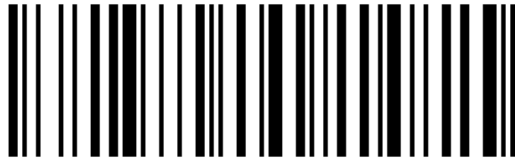
プレフィックスを追加する



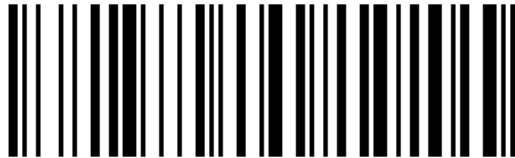
接尾語を追加



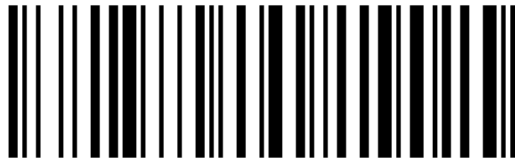
すべてのプレフィックスをクリアする



すべてのサフィックスをクリア



最初のバーコードの文字数を非表示にする



バーコード中央の開始桁を非表示にします



バーコードの途中の文字数を非表示にする



バーコードの末尾の文字数を非表示にする

デジタル設定コード

指定値が必要なパラメータについては、対応するデジタル設定コードをスキャンしてください。



デジタル設定コード 0



デジタル設定コード 1



デジタル設定コード 2



デジタル設定コード 3



デジタル設定コード 4



デジタル設定コード 5



デジタル設定コード 6



数値セットアップコード 7



デジタル設定コード 8



数値セットアップコード 9



デジタル設定コード A



デジタル設定コード B



デジタル設定コード C



デジタル設定コード D



デジタル設定コード E



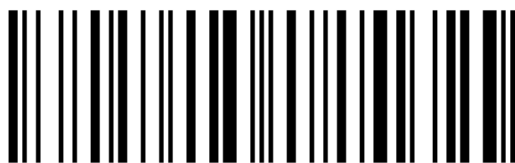
デジタル設定コード F

出力形式の設定

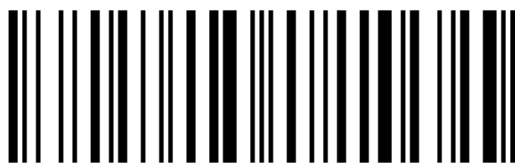
出力データ形式を変更する必要がある場合は、以下の対応する設定コードをスキャンしてください。



デフォルトの出力形式



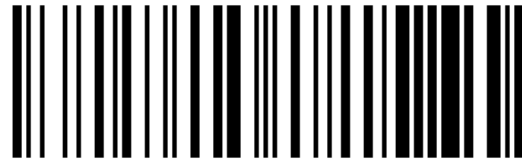
出力サフィックスを許可する



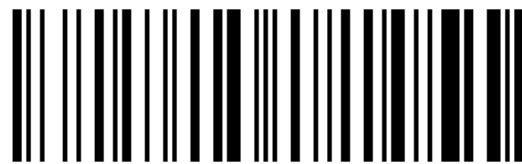
出力プレフィックスを許可する



バーコードヘッダーコンテンツを非表示にすることができます



バーコードの中央のコンテンツを非表示にすることができます



バーコード末尾のコンテンツを非表示にすることができます

手順例

プレフィックスまたはサフィックスの追加ステップ

1. プレフィックスとサフィックスの出力が有効になっていない場合は、まず対応する出力フォーマットコードをスキャンしてください。
2. 新しい文字は既存のサフィックスに追加されます。元のサフィックスを破棄したい場合は、「すべてのプレフィックス/サフィックスをクリア」をスキャンしてリセットしてください。
3. 「プレフィックスの追加」または「サフィックスの追加」設定コードをスキャンします。
4. [ASCII ファンクションキー文字比較表](#) または [ASCII 文字比較表](#) に基づいて、入力するプレフィックスまたはサフィックスに対応する 16 進値を決定します。
5. 対応する 2 桁の 16 進数設定コードをスキャンします。
6. 文字を追加し続ける場合は、手順 4 と 5 を繰り返します。

例

プレフィックスとして **Ctrl+A** を追加する必要がある場合は、「プレフィックスの追加」「9」「7」「4」「1」を順にスキャンします。

例

Ctrl+Alt+A をサフィックスとして追加する必要がある場合は、「サフィックスの追加」「9」「7」「9」「9」「4」「1」を順にスキャンします。

バーコードの最初/中間/末尾の文字を非表示にする手順

1. バーコードのヘッダー、中間の開始ビット、中間の長さ、または末尾の文字を非表示にする設定コードをスキャンします。
2. 非表示にする文字の長さに対応する 16 進値を決定します (たとえば、4 文字を非表示にする場合は、0、4 をスキャンします。12 文字を非表示にする場合は、0、C をスキャンします)。
3. 対応する 2 桁の 16 進数設定コードをスキャンします。
4. 出力書式設定コードを通じて隠し文字機能を有効または無効にします。

9.2 拡張データ編集設定

このセクションでは、完全なコマンドからデータ編集設定コードを一度に生成できます。一括設定、リモートでのシリアルコマンド送信、または文字置換が必要な場合に適しています。

ワンコード設定オンライン生成ツール

注釈

オンライン生成ツールは HTML マニュアルでのみ表示されます。設定コードを生成した後、生成されたバーコードを直接スキャンして設定を完了できます。また、下記のコマンド形式でシリアルコマンドとして送信することもできます。

プレフィックスを追加する

接尾語を追加

バーコード先頭文字を非表示

バーコード中央文字を非表示

バーコード末尾文字を非表示

文字置換

ワンコード設定コマンド形式

編集形式:

```
$DATA#ncllxx#
```

n

1 サフィックス。2 プレフィックス。3 は、バーコードの末尾の内容を非表示にします。4 は、バーコードの中央のコンテンツを非表示にします。5 は、バーコードの最初のコンテンツを非表示にします。7 は文字を置き換えます。

c

Code ID は、現在、すべてのコードシステムを示す 0 のみをサポートしています。

ll

長さ、16 進値: 接頭辞と接尾辞 01~0A、01~FF を非表示、01~05 を置き換えます。

xx

ASCII 値。16 進数は、\x に 2 文字を加えたもので表現でき、文字の範囲は 0~9、A~F です。

表 1: ワンコード設定例

注文	意味
\$DATA#1005abcd\x03#	0x05 サフィックスを追加します: abcd + 0x03。
\$DATA#200ANETUM12345#	0x0A プレフィックス NETUM12345 を追加します。
\$DATA#3008#	バーコードの末尾にある 0x08 文字を非表示にします。
\$DATA#40050A#	バーコード内の 0x05 文字の後の 0x0A 文字を非表示にします。
\$DATA#5011#	バーコードヘッダー 0x11 バイトを非表示にします。
\$DATA#7001\x1D02GS#	GS (0x1D) 文字を GS に置き換えます。
\$DATA#7002NT01Z#	NT を Z に置き換えます。

文字置換操作

形式: \$DATA#70 + 被替换字符长度 + 被替换字符 + 替换后数据长度 + 替换后数据 #

置換される文字と置換される文字の長さの合計は 6 以下で、1~6 文字が 5~0 文字に置換されることがサポートされます。



置換設定の読み取り



置換設定をクリアする

例

\$DATA#7001\x1D02GS# は、表示不可能な文字 GS (0x1D) を GS に置き換えて表示することを意味します。



文字置換操作: GS からテキスト GS へ

例

\$DATA#7001\x0A01\x0D# は、LF (0x0A) を CR (0x0D) に置き換えることを意味します。



文字置換操作: LF から CR

i 例

\$DATA#7006ABCDEF00# は、文字列 ABCDEF を何も置き換えない、つまり表示しないことを意味します。

9.3 端末文字設定

i 注釈

この終端文字は、デコードモジュールのサフィックスやワイヤレスサフィックスから独立しているため、デコードモジュールにサフィックスがない場合でも、迅速な設定が容易になります。



なし (デフォルト)



CR を入力してください



タブ文字 TAB



キャリッジリターンとラインフィード CRLF

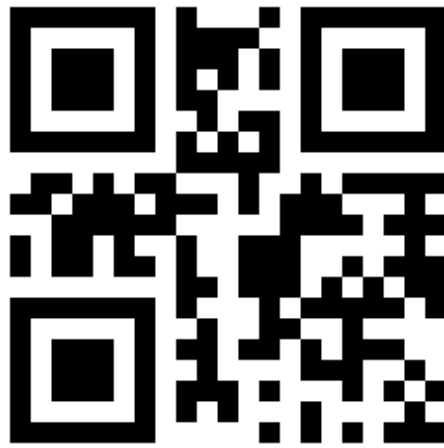


改行 LF

9.4 GS1 AI フィールドブラケット設定

注釈

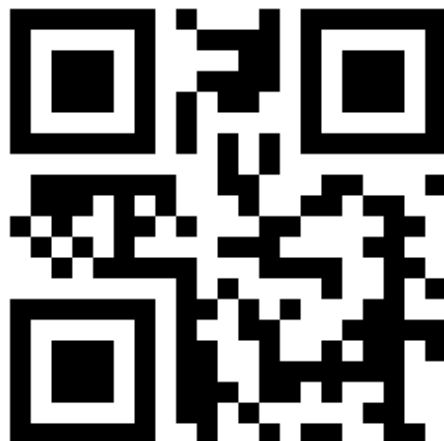
一部の AI フィールドのみが適用され、特別なバージョンのサポートが必要です。



生の形式 (デフォルト)



括弧を追加する



括弧を追加し、CR で区切ります。



括弧を追加し、TAB で区切ります

10 読書モード

10.1 バーコードデコード読み取りモード



キースキャンモード（デフォルト）



連続スキャンモード

i 注釈

連続スキャンモードは、連続高速スキャンシナリオに適しています。トリガーボタンを押して、開始または停止をトリガーします。



キーパルススキャンモード

i 注釈

キーレベルの変化を検出すると読み取りを開始し（約 30ms 保持）、再度キーレベルの変化を検出すると読み取りを終了します。読み取りが成功するかタイムアウトになると、読み取りは終了します。



ホストトリガーモード（一部のカスタマイズモデルにのみ適用）

i 注釈

ホストトリガーモードは一部のカスタマイズモデルにのみ適用されます。



バッチスキャンモード（一部のカスタマイズされたモデルにのみ適用可能）

デコードタイムアウト

このパラメータは、スキャン試行中にデコード処理が継続する最大時間を設定します。デフォルト: 3000ms、範囲: 0500 ~ 9999ms。



3 秒 (デフォルト)



6 秒

インターバル時間

連続モードでの 2 つの読み取り間の間隔。デフォルト: 500ms、範囲: 0100 ~9999ms。



0.5 秒 (デフォルト)



1 秒

11 付録

11.1 文字検索テーブル

ASCII ファンクションキー文字比較表

00H-0FH

HEX	CODE	* 構成 0	Config3	Config1	Config4	Config2 Windows	Config5 Windows
00H	NUL	NUL	NUL	Ctrl+@	Ctrl+@	ALT+000	ALT+000
01H	SOH	NUL	NUL	Ctrl+A	Ctrl+A	ALT+001	ALT+001
02H	STX	NUL	NUL	Ctrl+B	Ctrl+B	ALT+002	ALT+002
03H	ETX	NUL	NUL	Ctrl+C	Ctrl+C	ALT+003	ALT+003
04H	EOT	NUL	NUL	Ctrl+D	Ctrl+D	ALT+004	ALT+004
05H	ENQ	NUL	NUL	Ctrl+E	Ctrl+E	ALT+005	ALT+005
06H	ACK	NUL	NUL	Ctrl+F	Ctrl+F	ALT+006	ALT+006
07H	BEL	NUL	NUL	Ctrl+G	Ctrl+G	ALT+007	ALT+007
08H	BS	Backspace	Backspace	Ctrl+H	Ctrl+H	ALT+008	ALT+008
09H	HT	TAB	TAB	TAB	Ctrl+I	ALT+009	ALT+009
0AH	LF	NUL	Enter	Ctrl+J	Ctrl+J	ALT+010	ALT+010
0BH	VT	TAB	TAB	Ctrl+K	Ctrl+K	ALT+011	ALT+011
0CH	FF	NUL	NUL	Ctrl+L	Ctrl+L	ALT+012	ALT+012
0DH	CR	Enter	Enter	Enter	Ctrl+M	Enter	ALT+013
0EH	SO	NUL	NUL	Ctrl+N	Ctrl+N	ALT+014	ALT+014
0FH	SI	NUL	NUL	Ctrl+O	Ctrl+O	ALT+015	ALT+015

10H-1FH

HEX	CODE	* 構成 0/3	Config1/4	Config2/5 Windows
10H	DLE	NUL	Ctrl+P	ALT+016
11H	DC1	NUL	Ctrl+Q	ALT+017
12H	DC2	NUL	Ctrl+R	ALT+018
13H	DC3	NUL	Ctrl+S	ALT+019
14H	DC4	NUL	Ctrl+T	ALT+020
15H	NAK	NUL	Ctrl+U	ALT+021
16H	SYN	NUL	Ctrl+V	ALT+022
17H	ETB	NUL	Ctrl+W	ALT+023
18H	CAN	NUL	Ctrl+X	ALT+024
19H	EM	NUL	Ctrl+Y	ALT+025
1AH	SUB	NUL	Ctrl+Z	ALT+026
1BH	ESC	ESC	Ctrl+[	ALT+027
1CH	FS	NUL	Ctrl+\	ALT+028
1DH	GS	NUL	Ctrl+]	ALT+029
1EH	RS	NUL	Ctrl+^	ALT+030
1FH	US	NUL	Ctrl+-	ALT+031

注釈

Mac システムでは、Ctrl キーは Command キーに対応します。

ASCII 文字比較表

20H-5FH

HEX	ASCII	HEX	ASCII	HEX	ASCII	HEX	ASCII
20H	Space	30H	0	40H	@	50H	P
21H	!	31H	1	41H	A	51H	Q
22H	"	32H	2	42H	B	52H	R
23H	#	33H	3	43H	C	53H	S
24H	\$	34H	4	44H	D	54H	T
25H	%	35H	5	45H	E	55H	U
26H	&	36H	6	46H	F	56H	V
27H	'	37H	7	47H	G	57H	W
28H	(	38H	8	48H	H	58H	X
29H	)	39H	9	49H	I	59H	Y
2AH	*	3AH	:	4AH	J	5AH	Z
2BH	+	3BH	;	4BH	K	5BH	[
2CH	,	3CH	<	4CH	L	5CH	\
2DH	-	3DH	=	4DH	M	5DH	]
2EH	.	3EH	>	4EH	N	5EH	^
2FH	/	3FH	?	4FH	O	5FH	_

60H-9DH

HEX	ASCII	HEX	ASCII	HEX	Fun Key	HEX	Fun Key
60H	`	70H	p	80H	F1	90H	End
61H	a	71H	q	81H	F2	91H	Page Down
62H	b	72H	r	82H	F3	92H	Right Arrow
63H	c	73H	s	83H	F4	93H	Left Arrow
64H	d	74H	t	84H	F5	94H	Down Arrow
65H	e	75H	u	85H	F6	95H	Up Arrow
66H	f	76H	v	86H	F7	96H	Print Screen
67H	g	77H	w	87H	F8	97H	*Ctrl
68H	h	78H	x	88H	F9	98H	* シフト
69H	i	79H	y	89H	F10	99H	* 左 Alt
6AH	j	7AH	z	8AH	F11	9AH	* 右 Alt
6BH	k	7BH	{	8BH	F12	9BH	1s Delay
6CH	l	7CH		8CH	Insert	9CH	*Win-GUI
6DH	m	7DH	}	8DH	Home	9DH	* キーストローク
6EH	n	7EH	~	8EH	Page Up		
6FH	o	7FH	DEL	8FH	Delete		

 注釈

Ctrl、Shift、Alt、GUI をプレフィックスまたはサフィックスとして設定すると、次の文字と組み合わせて出力されます (ALT、TH キーボードに設定した場合はサポートされません)。キーストローク後の文字がそのままキー値として出力されます。